

JAMA・JAPIA

**EDIFACT
PROTAP 導入ガイドライン
V1.02
JAMAEIE055**

2004年3月31日

JAMA

Japan Automobile Manufacturers Association, Inc.

(社)日本自動車工業会
電子情報委員会 EDI 部会

JAPIA

Japan Auto Parts Industries Association

(社)日本自動車部品工業会
電子情報化委員会 EDI 検討会

このガイドラインは、(社)日本自動車工業会(JAMA) 電子情報委員会 EDI 部会国際標準分科会において、(社)日本自動車部品工業会(JAPIA) 電子情報化委員会 EDI 検討会と共同して、日本自動車産業界における部品発注業務の EDI 標準化を目的に、「カレンダー」情報の UN/EDIFACT 利用をめざし、「PROTAP」の利用方法についての標準を定めたものである。

自工会国際標準分科会と部工会 EDI 検討会により大枠が決定された後、自工会及び部工会メンバー会社による検証がなされ、正式なガイドラインとして、発行するものである。

また、欧州 ODETTE、米国 AIAG のガイドラインとも整合をとるべく、3 極による EDIFACT 合同検討についての覚書き (MoU) を取り交わし、その上での話し合いを実施しており、世界自動車業界での標準を踏襲している。

このガイドラインは、必要に応じて順次改良されていくべきものであり、メンテナンスは、国際標準分科会と部工会 EDI 検討会の合議において実施される。

目次

前書き	.. 1
1 . はじめに	.. 3
2 . PROTAP メッセージの概要	.. 4
2.1 PROTAP でカバーされるビジネス機能	.. 4
2.2 カレンダー情報に必要な項目	.. 4
2.3 カレンダーの対象と設定位置	.. 4
3 . メッセージ記述	.. 5
3.1 セグメント表	.. 5
3.1.1 セグメント表の見方	.. 5
3.1.2 リリース D.99A に対する変更点	.. 5
3.1.3 カレンダー用 PROTAP セグメント表	.. 7
3.1.4 カレンダー情報の対象別使用セグメント	.. 9
3.2 JAMA・JAPIA セグメント概説	..10
3.3 JAMA・JAPIA メッセージ情報	..12
3.4 セグメント詳細記述	..16
3.4.1 セグメント詳細記述の見方	..16
3.4.2 セグメント・グループ記述の見方	..16
3.4.3 データ値タイプ	..17
3.4.4 文字セット	..17
3.4.5 日本語(2バイト文字)表記	..17
3.4.6 セグメント内でのデータの分離	..17
3.4.7 PROTAP セグメント詳細記述使用例	..18
3.4.8 PROTAP セグメント詳細記述	..19
4 . 記述例	..42
5 . 交換用サービス・セグメント	..43
5.1 サービス・セグメント概要	..44
5.2 サービス・ストリング・アドバイス概要	..44

1. はじめに

UN/EDIFACT とは、United Nations / Electronic Data Interchange For Administration, Commerce and Transport の略であり、全世界規模で一貫性のある EDI 標準を提供するため、国連で策定されたものである。

従って、UN/EDIFACT は、単一の世界標準として、自動車業界のみならず、すべての業界で利用できるように作られている。

このガイドラインにおいて「EDIFACT」という言葉は、自動車業界で利用し易いように、必要な部分を UN/EDIFACT から取り出し策定した業界標準メッセージを意味することにする。

ユーザーが EDIFACT を導入するためには、文法、構造、規約を理解する必要がある。このガイドラインは、その理解を支援するためのものであり、つぎの狙いがある。

- ・利用者の固有フォーマットから EDIFACT フォーマットへの移行を容易にする。
- ・今後の EDI 導入において、EDIFACT を利用した JAMA・JAPIA 標準の利用を促進する。

EDIFACT を使用する利点は、

- ・全世界とデータ交換ができる。
- ・全業種とデータ交換ができる。
- ・業界内の全企業とデータ交換ができる。
- ・企業内のデータ交換にも利用できる。
- ・新規取引先とのデータ交換が容易に実現できる。

これらの利点は、取引企業双方が、このガイドラインのような業界規約を利用する場合に意味がある。特に、ある企業が複数の企業と取引を行う場合に、この標準規約を基準とした EDI フォーマットを企業間で合意することが重要である。

EDIFACT は企業が独自で定めているメッセージについても、記述できるような柔軟性はあるが、標準化の観点では独自項目の見直しが前提となる。

本書は、PROTAP メッセージによるカレンダー情報の伝送について記述する。

PROTAP メッセージを交換するかどうか、どんな場合に交換するか、については、交換する 2 社間において、事前に合意がなされていることが前提である。

PROTAP を交換する前に、データ交換する 2 社間において、適用する国際規約・標準および社内システムの能力・制約について合意しておく必要がある。

本書は、メッセージ交換に必要な 2 社間合意において、使用する条件を取り決める際の標準項目をガイドするものである。最終的な決定は、利用する 2 社の責任である。

2. PROTAP メッセージの概要

2.1 PROTAP でカバーされるビジネス機能

PROTAP メッセージとは、The Project tasks planning message であり、3つの主要なグループから成る。

- 1) リソースの活用可能状況
- 2) カレンダー情報
- 3) リソースやカレンダー、目標、制約条件などを伴った活動や仕事

ここでは、カレンダー情報の伝送のみに限定して、PROTAP メッセージを使用する。

カレンダー情報は、主として発注者が受注者に対し、発注者および納入先の稼働スケジュールを示すための情報である。受注者はこの情報により、部品の製造、出荷のスケジュールを検討することができる。

2.2 カレンダー情報に必要な項目

カレンダー情報には、発注者、納入先、納入場所における稼働日数とカレンダー（稼働日、非稼働日、労働シフト）カレンダーを特定するカレンダーID などがある。

- (1)ヘッダー部：必須
 - 情報種、リリース番号、ガイドライン番号
 - 処理日、カレンダー対象月 / 対象期間
- (2)カレンダー部：任意または選択
 - 発注者、納入先（+事業所） 対象部署
 - 稼働日数、カレンダー
 - 参照カレンダーID
 - 担当者と連絡方法

2.3 カレンダーの対象と設定位置

カレンダーの対象により、以下のような使い分けを行う。

- (1) 発注者、納入先（+事業所）単位でのカレンダー設定
 - ・ 発注者、納入先（+事業所）: セグメント・グループ 16
 - ・ カレンダー情報 : セグメント・グループ 18
- (2) 納入場所（部署）単位でのカレンダー設定
 - ・ 発注者、納入先（+事業所）: セグメント・グループ 16
 - ・ 納入場所（部署）: セグメント・グループ 21
 - ・ カレンダー情報 : セグメント・グループ 21

3. メッセージ記述

3.1 セグメント表

セグメントとは、タグと呼ばれるセグメントを識別するための3文字の英大文字で始まり、セグメント終了識別子（デフォルトはアポストロフィ）で終了する、一連のメッセージを言う。

セグメント・グループとは、機能的に関連のあるセグメントおよび付加的なセグメント・グループから構成されるメッセージ群を言う。

セグメント表とは、EDIFACT メッセージのセグメント構造を記述した表である。セグメントおよびセグメント・グループを、メッセージのポジション番号順に記述し、情報種単位の構造を示す。

3.1.1 セグメント表の見方

セグメント表において、セグメントはメッセージのポジション番号順に記述している。

セグメント・グループの繰り返しは、上位の（外部）セグメント・グループに含まれることがある。内部グループは、外部グループの終了する前か同時に終了する。内部グループで与えられる情報は、外部グループと密接な関連を持つ。

外部グループの使用は、そこに含まれるセグメントまたは内部グループがすべて使われない時「使用しない」ことになる。1つでも「必須」があれば、必須となる。

セグメント表の左欄(Usage)には、JAMA・JAPIA としての使用要件が記述されている。

- ・ M : JAMA・JAPIA 必須項目で国連でM (Mandatory) としているもの。
- ・ R : JAMA・JAPIA として必須項目とする。
- ・ O : JAMA・JAPIA として任意項目とする。
- ・ X : JAMA・JAPIA として使用することを推奨しない。

3.1.2 リリース D.99A に対する変更点

当ガイドラインの EDIFACT メッセージの構造や使用するエレメントのコードは、UN/EDIFACT のリリース D.99A を基本としている。

しかし、リリース D.99A では表現不可能な情報があるため、次に示すような追加・変更を加えている。

- ・ エレメントのコード追加
- ・ セグメントおよびセグメント・グループの属性変更

当ガイドラインでは、リリース D.99A に、これらの追加・変更を織り込んだものを標準メッセージとして記述している。

(1) コード追加

(表 3.1-1)

セグメント	D-elm	C-elm	内容	コード	コード説明
DTM	C507	2379	年月前半 / 後半	6	CCYYMMB
DTM	C507	2379	年月週	7	CCYYMMW
DTM	C507	2379	年月日シフト	8	CCYYMMDDS
DTM	C507	2379	年月日時間帯	9	CCYYMMDDPP
DTM	C507	2379	記号列	ZZZ	Mutually defined
SCC	C329	2013	旬単位	G	Ten days
SCC	C329	2013	半月単位	H	Semi-monthly
-	-	3055	JIPDEC/ECPC	289	JIPDEC/ECPC

-	-	3055	JAMA	290	JAMA
-	-	3055	JAPIA	291	JAPIA

(2) 追加・変更項目

(表 3.1-2)

Pos.	Seg	分類	内容		
0030	GIS	属性変更	M	C	
0050	SG1	属性変更	M	C	
0120	SG3	属性変更	M	C	
1020	UNT	桁数変更	e0074 の最大桁数	n..6	n..10

3.1.3 カレンダー用 PROTAP セグメント表

(表 3.1-3)

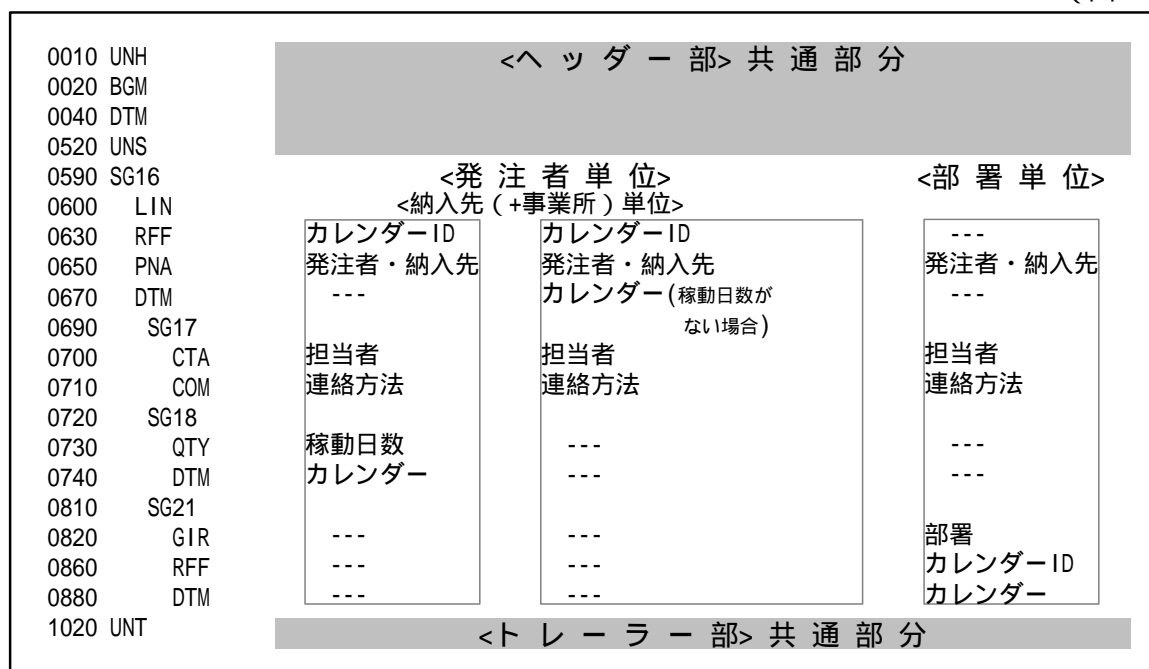
Usage	Pos. No.	Seg ID	Name	Req Des.	Max Use	.Grp Rep
M	0010	UNH	Message header	M	1	
M	0020	BGM	Beginning of message	M	1	
X	0030	GIS	General indicator	C	1	
M	0040	DTM	Date/time/period	M	99	
X	0050		SG1	C		99
X	0060	RFF	Reference	M	1	
X	0070	IMD	Item description	C	9	
X	0080	BII	Structure identification	C	99	
X	0090		SG2	C		99
X	0100	GIR	Related identification numbers	M	1	
X	0110	REL	Relationship	C	1	
X	0120		SG3	C		99
X	0130	PNA	Party identification	M	1	
X	0140	ADR	Address	C	1	
X	0150	BII	Structure identification	C	1	
X	0160		SG4	C		9
X	0170	CTA	Contact information	M	1	
X	0180	COM	Communication contact	C	9	
X	0190		SG5	C		9
X	0200	CED	Computer environment details	M	1	
X	0210	DTM	Date/time/period	C	9	
X	0220		SG6	C		99
X	0230	EFI	External file link identification	M	1	
X	0240	CED	Computer environment details	C	1	
X	0250	DTM	Date/time/period	C	1	
X	0260		SG7	C		999
X	0270	IND	Index details	M	1	
X	0280	BII	Structure identification	C	1	
X	0290	IMD	Item description	C	1	
X	0300	RCS	Requirements and conditions	C	1	
X	0310		SG8	C		9999
X	0320	LIN	Line item	M	1	
X	0330	BII	Structure identification	C	9	
X	0340	RFF	Reference	C	9	
X	0350	IMD	Item description	C	9	
X	0360	DTM	Date/time/period	C	99	
X	0370		SG9	C		99
X	0380	QTY	Quantity	M	1	
X	0390	DTM	Date/time/period	C	99	
X	0400		SG10	C		99
X	0410	PRI	Price details	M	1	
X	0420	DTM	Date/time/period	C	99	
X	0430		SG11	C		99
X	0440	PCD	Percentage details	M	1	

X	0450	DTM	Date/time/period	C	99
X	0460		SG12	C	99
X	0470	RTE	Rate details	M	1
X	0480	DTM	Date/time/period	C	99
X	0490		SG13	C	99
X	0500	MOA	Monetary amount	M	1
X	0510	DTM	Date/time/period	C	99
M	0520	UNS	Section control	M	1
O	0530		SG14	C	99
M	0540	RFF	Reference	M	1
X	0550		SG15	C	999
X	0560	SCC	Scheduling conditions	M	1
X	0570	QTY	Quantity	C	99
X	0580	DTM	Date/time/period	C	999
R	0590		SG16	C	9999
M	0600	LIN	Line item	M	1
X	0610	STS	Status	C	1
X	0620	BII	Structure identification	C	9
O	0630	RFF	Reference	C	9
X	0640	IMD	Item description	C	9
R	0650	PNA	Party identification	C	9
X	0660	CCI	Characteristic/class id	C	9
O	0670	DTM	Date/time/period	C	99
X	0680	FTX	Free text	C	99
O	0690		SG17	C	9
M	0700	CTA	Contact information	M	1
O	0710	COM	Communication contact	C	9
O	0720		SG18	C	99
M	0730	QTY	Quantity	M	1
O	0740	DTM	Date/time/period	C	99
X	0750		SG19	C	99
X	0760	PCD	Percentage details	M	1
X	0770	DTM	Date/time/period	C	99
X	0780		SG20	C	99
X	0790	MOA	Monetary amount	M	1
X	0800	DTM	Date/time/period	C	99
O	0810		SG21	C	9999
M	0820	GIR	Related identification numbers	M	1
X	0830	REL	Relationship	C	1
X	0840	RCS	Requirements and conditions	C	1
X	0850	BII	Structure identification	C	9
O	0860	RFF	Reference	C	9
X	0870	IMD	Item description	C	9
O	0880	DTM	Date/time/period	C	99
X	0890		SG22	C	99
X	0900	QTY	Quantity	M	1
X	0910	DTM	Date/time/period	C	99

X	0920		SG23		C	99		
X	0930	PCD	Percentage details		M	1		
X	0940	DTM	Date/time/period		C	99		
X	0950		SG24		C	99		
X	0960	MOA	Monetary amount		M	1		
X	0970	DTM	Date/time/period		C	99		
X	0980		SG25		C	99		
X	0990	RTE	Rate details		M	1		
X	1000	DTM	Date/time/period		C	99		
X	1010	CNT	Control total		C	99		
M	1020	UNT	Message trailer		M	1		

3.1.4 カレンダー情報の対象別使用セグメント

(図 3.1-4)



3.2 JAMA・JAPIA セグメント概説

UNB メッセージ交換ヘッダー (Interchange Header) 5章参照

複数のメッセージ (UNH-UNT) をまとめてユニークに識別し、送信するためのサービス・セグメント。

UNH メッセージヘッダー (Message Header)

メッセージの開始と、メッセージをユニークに識別するためのサービス・セグメント。
「カレンダー情報」を送信するためのメッセージ分類コードは「PROTAP」である。

BGM メッセージの開始 (Beginning of Message)

メッセージに関わるドキュメント名称やドキュメント番号を示すためのセグメント

DTM 日付/時間/期間 (Date/Time/Period)

発行日やカレンダー対象期日・対象期間を設定する。

UNS セクションコントロール (Section control)

PROTAP メッセージを成立させるために必須のサービス・セグメント。

SG14 セグメント・グループ - 14 : RFF-SG15

受信確認用件数を設定するセグメント・グループ

RFF 参照情報 (Reference)

受信確認用件数を設定するセグメント

SG16 セグメント・グループ - 16 : LIN-STS-BII-RFF-IMD-PNA-CCI-DTM-FTX- SG17-SG18-SG19-SG20-SG21

カレンダーを記述するためのセグメント・グループ

LIN 明細項目 (Line item)

明細部の始まりを示すセグメント。順序数などのダミー情報を設定する。

RFF 参照情報 (Reference)

カレンダーに関連する参考情報を指定するセグメント。

PNA パーティ識別 (Party identification)

カレンダーの対象となる発注者、納入先 (+ 事業所) を示すセグメント。

DTM 日付・時間・期間 (Date/time/period)

カレンダー対象期間を示す。Pos.0040 での対象期間と同じ場合は省略される。
また、稼働日数を伝送しない場合は、ここでカレンダーを示す。

SG17 セグメント・グループ - 17 : CTA-COM

担当者、部門、および連絡先を指定するセグメント・グループ。

CTA コンタクト先情報 (Contact Information)

連絡先としての担当者、部門を指定するセグメント。

COM 通信コンタクト情報 (Communication Contact)

CTA セグメントで指定された担当者、部門に連絡する場合の通信手段、相手先番号を指定するセグメント。

SG18 セグメント・グループ - 18 QTY-DTM
カレンダーを示すセグメント・グループ。

QTY 数量 (Quantity)
稼働日数を示す。

DTM 日付・時間・期間 (Date/time/period)
カレンダーを示す。

SG21 セグメント・グループ - 21 GIR-REL-RCS-BII-RFF-IMD-DTM-SG22-SG23-SG24-SG25
納入先(+事業所)内の細分化された部署ごとにカレンダーを設定するためのセグメント・グループ

GIR 関連番号 (Related identification numbers)
部署を示すセグメント

RFF 参照情報 (Reference)
カレンダーに関連する参考情報を指定するセグメント。

DTM 日付・時間・期間 (Date/time/period)
カレンダーを示す。

UNT メッセージ・トレーラー (Message Trailer)
メッセージの終わりを示すサービス・セグメント。メッセージ内の合計セグメント数およびコントロール用の参照番号を示す。

UNZ メッセージ交換トレーラー (Interchange Trailer) 5章参照
UNB に対応し、メッセージ交換の終了を表わすサービス・セグメント。

3.3 JAMA・JAPIA メッセージ情報

<ヘッダー部>

0010 UNH EDIFACT 上のメッセージタイプを識別するサービス・セグメント。

e0062 : 当メッセージを特定する為に、送信者がユニークに設定するメッセージ参照番号。
当セグメントはサービス・セグメントであり、EDIFACT 上のメッセージタイプの識別を示す。この番号は UNT e0062 と等しくなければならない。

S009 のデータ・エレメントは以下の値をとることとする。

e0065: 'PROTAP'
e0052: 'D'
e0054: '99A'
e0051: 'UN'
e0057: 'JAMA01'

0020 BGM カレンダー情報であることを特定する。

C002.e1001 : '257' (Project Planning Calendar)

C106.e1004 : JAMAEIE055- (固定: 本ガイドラインの NO) + 各社メッセージ仕様書名

e1056 : 各社メッセージ仕様書のバージョン番号

e1060 : 各社メッセージ仕様書のリビジョン番号

e1225 : '5' (Replace) : 初回 (オリジナル送付) の場合も 5 を使用する。

0040 DTM 発行日やカレンダー対象期日 (対象期間) 等を設定する。

C507.e2005 :

Code value	Code name	Common usage
137	Document/message date/time	発行日/時刻
157	Validity start date	対象基準日 終了日の指定無し
158	Horizon start date	カレンダー対象範囲開始日 159 とペアで使用
159	Horizon end date	カレンダー対象範囲終了日 158 とペアで使用
257	Calculation date	処理日/時刻
540	Instruction's original execution date	オリジナルデータ作成日/時刻

e2380 : 発行日やカレンダー対象期日 (対象期間) 等の日付を設定する。

e2379 :

Code value	Code name	Description	Common usage
6	CCYYMMB	Half monthly	年月前半/後半
7	CCYYMMW	Week within a calendar month	年月週
102	CCYYMMDD	Calendar date	年月日
203	CCYYMMDDHHMM	Calendar date including time with minutes	年月日時分
204	CCYYMMDDHHMMSS	Calendar date including time with seconds: C=Century; Y=Year; M=Month; D=Day; H=Hour; M=Minute; S=Second.	年月日時分秒
610	CCYYMM	Month within a calendar year	年月

614	CCYYMMA	Format of ten days period	年月旬
616	CCYYWW	Week within a calendar year	年週 (1月1週 : ww = 01)

< 明細部 >

0520 UNS メッセージを成立させるために必須のサービス・セグメント。
e0081: 'D' (Header / Detail section separation) (固定)

0530 SG14 受信確認用件数を設定するセグメント・グループ

0540 RFF 受信確認用件数を設定するセグメント
C506.e1153: 'ZZZ' (Mutually defined reference number)
e1154: 受信確認用件数
e1156: 'H07' (JAMA コード) 受信確認用件数
e4000: '92' (Assigned by buyer or buyer's agent)

0590 SG16 カレンダーを記述するためのセグメント・グループ

0600 LIN 明細部の始まりを示すセグメント。順序数などのダミー情報を設定する。
e1082: 繰り返し使用の場合の順序数を設定する。(ダミー)

0630 RFF カレンダーに関連する参考情報を指定するセグメント
C506.e1153: 'AOJ' (Calendar)
e1154: カレンダーを特定する場合のカレンダーID

0650 PNA カレンダーの対象となる発注者、納入先 (+ 事業所) の名前、住所を示すセグメント。

e3035:

Code value	Code name	Common usage
BY	Buyer	発注者
ST	Ship To	納入先

C206.e7402: 企業名 (+ 事業所名)

C082.e3039: 会社企業コード (+ 事業所コード)

e3055: '92' (Assigned by buyer or buyer's agent)

'289' (JIPDEC/ECPC CII 標準企業コード) (JAMA・JAPIA 推奨)

0670 DTM カレンダー対象期間を示す。Pos.0040 での対象期間と同じ場合は省略される。
稼働日数を伝送しない場合は、ここでカレンダーを示す。

C507.e2005:

Code value	Code name	Common usage
157	Validity start date	対象基準日 終了日の指定無し
158	Horizon start date	カレンダー対象範囲開始日 159 とペアで使用
159	Horizon end date	カレンダー対象範囲終了日 158 とペアで使用
314	Planned duration of works	稼働日または、稼働/非稼働 (またはシフト状況) を示す記号

490	Selection period, start date	稼働開始日 期間の最初の日を示す
-----	------------------------------	---------------------

e2380 : カレンダー対象期間、日付、日数、記号などを設定する。

e2379 :

Code value	Code name	Description	Common usage
6	CCYYMMB	Half month	年月前半/後半
7	CCYYMMW	Week within a calendar month	年月週
102	CCYYMMDD	Calendar date	年月日
610	CCYYMM	Month within a calendar year	年月
614	CCYYMMA	Format of ten days period	年月旬
616	CCYYWW	Week within a calendar year	年週
ZZZ	Mutually defined	(JAMA 独自コード)	31 桁記号列 (稼働・非稼働の日・シフトの指定)

0690 SG17 担当者、部門、および連絡先を指定するセグメント・グループ。

0700 CTA 担当者を表すセグメント

e3139 :

Code value	Code name	Common usage
DL	Delivery contact	手配担当
IC	Information contact	情報システム担当
SC	Schedule contact	進捗担当

C056.e3413 : 部署または担当者のコード

e3412 : 部署名または担当者名

0710 COM C T A の指定がある時、連絡方法。

C076.e3148 : e-mail アドレス、ファックス番号、電話番号。

e3155 :

Code value	Code name	Common usage
EM	Electronic mail	E-mail アドレス
FX	Telefax	F a x 番号
TE	Telephone	電話番号

0720 SG 18 カレンダーを示すセグメント・グループ

0730 QTY 稼働日数を示す。

C186.e6063 : '77' (Work days)

e6060 : 稼働日数

0740 DTM カレンダーを示す。

C507.e2005 :

Code value	Code name	Common usage
314	Planned duration of works	稼働日または、稼働/非稼働 (またはシフト状況) を示す記号
490	Selection period, start date	稼働開始日 期間の最初の日を示す

e2380 : カレンダーに対応する日付、日数、符号などを設定する。

e2379 :

Code of e2379	Code name	Description	Common usage
102	CCYYMMDD	Calendar date	年月日
ZZZ	Mutually defined	(JAMA 独自コード)	31 桁記号列 (稼働・非稼働の日・シフトの指定)

0810 SG 21 1つのパーティ内の細分化された部署ごとにカレンダーを設定するためのセグメント・グループ

0820 GIR 細分化された部署を示すセグメント

e7297 : '13' (Work schedule)

C206.e7402 : 部署コード

C206.e7402 : 部署名

0860 RFF カレンダーに関連する参考情報を指定するセグメント

C506.e1153 : 'AOJ' (Calendar)

e1154 : カレンダーを特定する場合のカレンダーID

0880 DTM カレンダーを示す。

C507.e2005 :

Code value	Code name	Common usage
314	Planned duration of works	稼働日または、稼働/非稼働(またはシフト状況)を示す記号
345	Days of operation	稼働日数 期間中の実稼働日数を示す
490	Selection period, start date	稼働開始日 期間の最初の日を示す

e2380 : カレンダーに対応する日付、日数、符号などを設定する。

e2379 :

Code value	Code name	Description	Common usage
102	CCYYMMDD	Calendar date	年月日
814	Working days	Number of working days	稼働日数
ZZZ	Mutually defined	(JAMA 独自コード)	31 桁記号列 (稼働・非稼働の日・シフトの指定)

1020 UNT メッセージ・トレーラー

e0074 : UNH-UNT 間のセグメント数 (UNH,UNT も含む)

e0062 : UNH での e0062 と同じもの

3.4 セグメント詳細記述

セグメント詳細記述では、セグメント記述およびセグメント・グループ記述が、出現順（ポジション番号順）に記述される。

3.4.1 セグメント詳細記述の見方

Segment：セグメント・タグ。3文字の英大文字。

Position：セグメントの出現順番号。0010 より 10 番ごとに打たれる。

Group：所属するセグメント・グループ。

Level：セグメント・グループの階層度。

Usage：必須(Mandatory)か任意(Conditional)かを示す。

Purpose：セグメントの使用目的。

Comments：コメント。

Examples：使用例。

< Data Elements 内の項目 >

Usage：国連で M(必須)としているものは、JAMA・JAPIA として M(必須項目)とする。
国連で C(任意)としているものについて、JAMA・JAPIA としての取り扱いを以下の
ように定める。

R : JAMA・JAPIA として必須項目とする。

O : JAMA・JAPIA として任意項目とする。

X : JAMA・JAPIA として使用することを推奨しない。

D-Elm：データエレメント

C-Elm：構成エレメント

Name：データエレメント、構成エレメントの名称

Attribute：国連で定めた必須(M)/任意(C)と最大桁数

3.4.2 セグメント・グループ記述の見方

Segment：セグメント・グループ名。

Position：セグメントの出現順番号。0010 より 10 番ごとに打たれる。

Usage：必須(Mandatory)か任意(Conditional)かを示す。

Purpose：セグメント・グループの使用目的。

Comments：コメント。

< Segments and Segments groups 内の項目 >

Usage：国連で M(必須)としているものは、JAMA・JAPIA として M(必須項目)とする。
国連で C(任意)としているものについて、JAMA・JAPIA としての取り扱いを以下のよ
うに定める。

R : JAMA・JAPIA として必須項目とする。

O : JAMA・JAPIA として任意項目とする。

X : JAMA・JAPIA として使用することを推奨しない。

Segment：セグメント・タグおよびセグメント・グループ名

Name：セグメント名

Attribute：国連で定めた必須(M)/任意(C)と最大桁数

3.4.3 データ値タイプ

下表は、EDIFACT におけるデータ値のタイプを表わす。

数値データ・タイプにおいて、小数点は明示的に送る。小数点と負記号はデータ長に含めない。

また、正記号(+)はデータの分離記号として使われるため、使用しない。(符号なし数は正の数とみなす)。

(表 3.4-1)

表現	説明
a	英字
n	数字
an	英数字
a35	35 文字の英字 (固定長)
n35	35 桁の数字 (固定長)
an35	35 文字の英数字 (固定長)
a..35	最大 35 文字の英字
n..35	最大 35 桁の数字
an..35	最大 35 文字の英数字

3.4.4 文字セット

ISO 標準では、EDIFACT メッセージ内で使用できる文字セットとして UNOA-UNOK ,UNOX , UNOY を規定している。UN/ECE レベル A(UNOA)では、英大文字、数字および特定の特殊文字の使用を許している。文字セットはサービス・セグメント UNB で指定する。これは、自動車業界の業務要件に適合しており、我々が推奨している英語の利用要件をサポートしている。

3.4.5 日本語(2バイト文字)表記

EDIFACT のデータとしての日本語(2 バイト文字)表記は、推奨しない。コードによる記述や、英大文字による英語またはローマ字での記述を推奨する。

日本語表記が必要な場合は、文字セットを UNOX とし、属性が英数字として表現されている場所に 2 バイト 1 文字として記述する。

半角カタカナの使用は推奨しない。

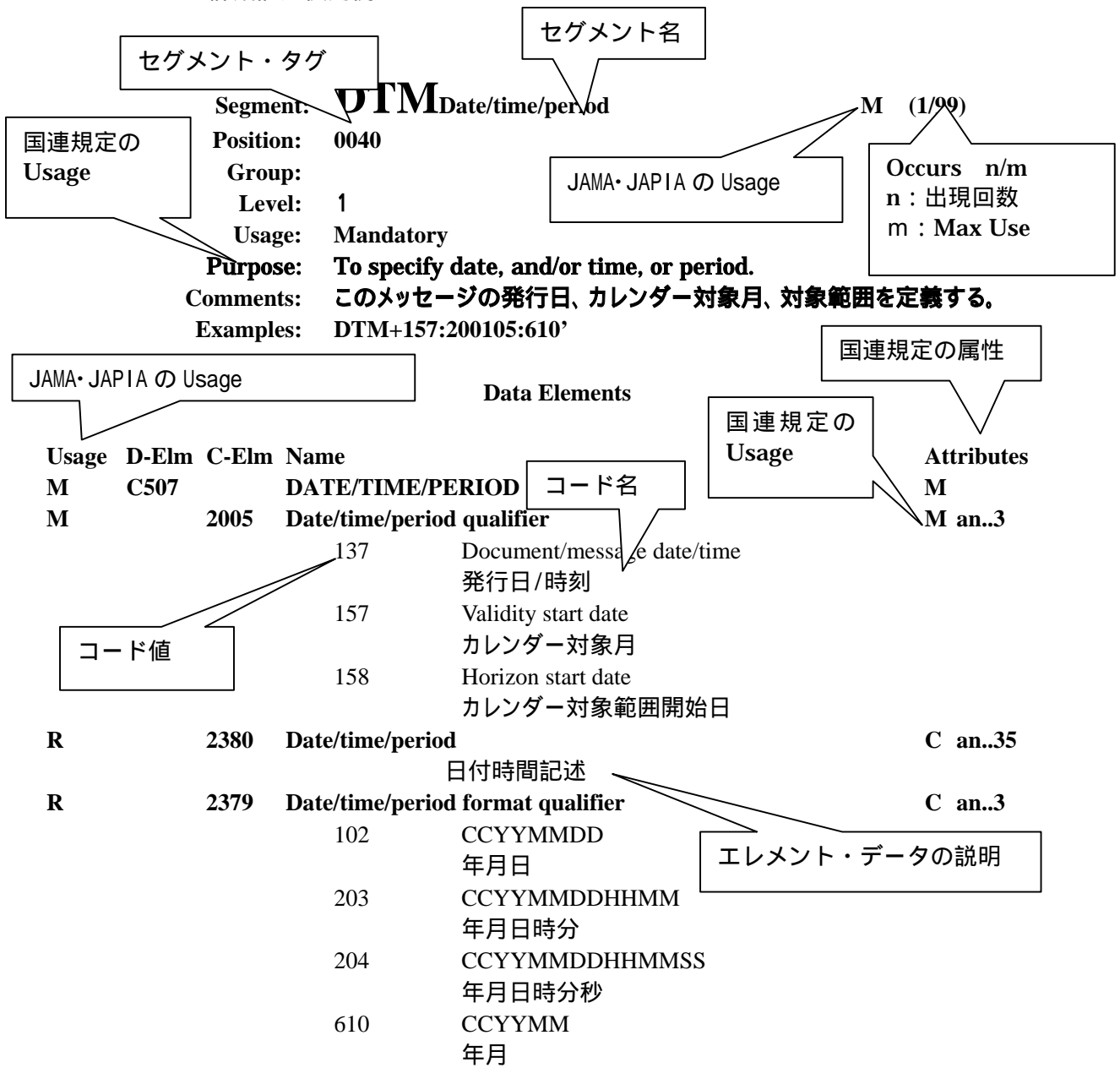
3.4.6 セグメント内でのデータの分離

下表は国連で定められている分離記号を示している。これらの記号は、UNA(サービス・string・アドバイス)によって、ユーザーが自由に定義することができるが、以下の記号(デフォルト)の使用を推奨する。

(表 3.4-2)

文字	記号	使用法
アポストロフィ	'	セグメントの終了
正(プラス)符号	+	セグメント・タグとデータ・エレメントの分離
コロン	:	構成データ・エレメントの分離
疑問符	?	分離記号を本来の意味として使う場合の識別

3.4.7 PROTAP詳細記述使用例



3.4.8 PROTAPセグメント詳細記述

Segment: **UNH** Message header M (1/1)
Position: 0010
Group:
Level: 0
Usage: Mandatory
Purpose: To head, identify and specify a message.
Comments: EDIFACT上のメッセージタイプを識別するサービス・セグメント
Examples: UNH+AAAA01+PROTAP:D:99A:UN:JAMA01'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	0062		MESSAGE REFERENCE NUMBER メッセージ参照番号	M an..14
M	S009		MESSAGE IDENTIFIER	M
M		0065	Message type PROTAP Project tasks planning message	M an..6
M		0052	Message version number D Draft version/UN/EDIFACT Directory	M an..3
M		0054	Message release number 99A Release 1999 A	M an..3
M		0051	Controlling agency UN UN/ECE/TRADE/WP4	M an..2
R		0057	Association assigned code JAMA01	C an..6
X	0068		COMMON ACCESS REFERENCE	C an..35
X	S010		STATUS OF THE TRANSFER	C
X		0070	Sequence of transfers	M n..2
X		0073	First and last transfer	C a1

Segment: **BGM** Beginning of message M (1/1)
Position: 0020
Group:
Level: 0
Usage: Mandatory
Purpose: To indicate the type and function of a message and to transmit the identifying number.
Comments: カレンダー情報であることを特定する。
Examples: BGM+257 +JAMAEIE055-Guide:V1:R1+5'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
R	C002		DOCUMENT/MESSAGE NAME	C
R		1001	Document/message name, coded	C an..3
			257 Project Planning Calendar カレンダー	
X		1131	Code list qualifier	C an..3
X		3055	Code list responsible agency, coded	C an..3
X		1000	Document/message name	C an..35
R	C106		DOCUMENT/MESSAGE IDENTIFICATION	C
R		1004	Document/message number	C an..35
			JAMAEIE055-(本ガイドラインのNo.)+各社メッセージ仕様書名	
O		1056	Version	C an..9
			各社メッセージ仕様書のバージョン番号	
O		1060	Revision number	C an..6
			各社メッセージ仕様書のリビジョン番号	
R	1225		MESSAGE FUNCTION, CODED	C an..3
			5 Replace	
X	4343		RESPONSE TYPE, CODED	C an..3

Segment: **DTM** Date/time/period M (1/99)
Position: 0040
Group:
Level: 1
Usage: Mandatory
Purpose: To specify date, and/or time, or period.
Comments: 発行日、カレンダー対象期日、対象範囲を定義する。
Examples: DTM+157:200105:610'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	C507		DATE/TIME/PERIOD	M
M		2005	Date/time/period qualifier	M an..3
		137	Document/message date/time 発行日/時刻	
		157	Validity start date カレンダー対象期日	
		158	Horizon start date カレンダー対象範囲開始日	
		159	Horizon end date カレンダー対象範囲終了日	
		257	Calculation date 処理日/時刻	
		540	Instruction's original execution date オリジナルデータ作成日/時刻	
R		2380	Date/time/period 日付時間記述	C an..35
R		2379	Date/time/period format qualifier	C an..3
		6	CCMMYYB 年月前後半	
		7	CCYYMMW 年月週	
		102	CCYYMMDD 年月日	
		203	CCYYMMDDHHMM 年月日時分	
		204	CCYYMMDDHHMMSS 年月日時分秒	
		610	CCYYMM 年月	
		614	CCYYMMA 年月旬	
		616	CCYYWW 年週	

Segment: **UNS** Section control **M (1/1)**
Position: **0520**
Group:
Level: **0**
Usage: **Mandatory**
Purpose: **To separate header, detail and summary sections of a message.**
Comments: **PROTAPメッセージを成立させるために必須のサービス・セグメント。**
Examples: **UNS+D'**

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	0081		SECTION IDENTIFICATION	M a1
		D	Header / Detail section separation	

Segment: **Segment Group 14** C (1/99)
Position: 0530
Usage: Conditional
Purpose:
Comments: 受信確認用件数を設定する。
Notes:

Segments and Segment Groups

Usage	Segment	Name	Attributes
M	RFF	Reference	M 1
X	Segment Group 15		C 999

Segment: **RFF** Reference M (1/1)
Position: 0540
Group: Segment Group 14
Level: 2
Usage: Mandatory
Purpose: To specify a reference.
Comments: 受信確認用件数を設定する。JAMA定義項目については、「JAMA・JAPIA取引情報標準書 別冊 JAMAコードブック」を参照のこと。
Examples: RFF+ZZZ:2:H07:92'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	C506		REFERENCE	M
M		1153	Reference qualifier ZZZ Mutually defined reference number JAMAコードブック定義項目を使用	M an..3
R		1154	Reference number 上記に対応する具体的な値	C an..35
R		1156	Line number H07 JAMAコード 受信確認用件数	C an..6
R		4000	Reference version number 92 Assigned by buyer or buyer's agent	C an..35
X		1060	Revision number	C an..6

Segment: **Segment Group 16** **R** (1/9999)
Position: 0590
Usage: Conditional
Purpose:
Comments: カレンダー情報を記述するためのセグメント・グループ
Notes:

Segments and Segment Groups

Usage	Segment	Name	Attributes
M	LIN	Line item	M 1
X	STS	Status	C 1
X	BII	Structure identification	C 9
O	RFF	Reference	C 9
X	IMD	Item description	C 9
R	PNA	Party identification	C 9
X	CCI	Characteristic/class id	C 9
O	DTM	Date/time/period	C 99
X	FTX	Free text	C 99
O	Segment Group 17		C 9
O	Segment Group 18		C 99
X	Segment Group 19		C 99
X	Segment Group 20		C 99
O	Segment Group 21		C 9999

Segment: **LIN** Line item M (1/1)
Position: 0600
Group: Segment Group 16
Level: 2
Usage: Mandatory
Purpose: To identify a line item and configuration.
Comments: 明細部の始まりを示すセグメント。順序数などのダミー情報を設定する。
Examples: LIN+1'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
R	1082		LINE ITEM NUMBER 順序数などのダミー情報を設定する。	C an..6
X	1229		ACTION REQUEST/NOTIFICATION, CODED	C an..3
X	C212		ITEM NUMBER IDENTIFICATION	C
X		7140	Item number	C an..35
X		7143	Item number type, coded	C an..3
X		1131	Code list qualifier	C an..3
X		3055	Code list responsible agency, coded	C an..3
X	C829		SUB-LINE INFORMATION	C
X		5495	Sub-line indicator, coded	C an..3
X		1082	Line item number	C an..6
X	1222		CONFIGURATION LEVEL	C n..2
X	7083		CONFIGURATION, CODED	C an..3

Segment: **RFF** Reference **O (1/9)**
Position: 0630
Group: Segment Group 16
Level: 2
Usage: Conditional
Purpose: To specify a reference.
Comments: カレンダー情報に関連する参考情報を指定するセグメント
Examples: RFF+AOJ:0101'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	C506		REFERENCE	M
M		1153	Reference qualifier AOJ Calendar	M an..3
O		1154	Reference number カレンダーを特定する場合のカレンダーID	C an..35
X		1156	Line number	C an..6
X		4000	Reference version number	C an..35
X		1060	Revision number	C an..6

Segment: **PNA** Party identification R (1/9)
 Position: 0650
 Group: Segment Group 16
 Level: 2
 Usage: Conditional
 Purpose: To specify information necessary to establish the identity of a party.
 Comments: カレンダー情報の対象となる発注者、納入先(+ 事業所)を示すセグメント。
 Examples: PNA+BY++T1001::92'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	3035		PARTY QUALIFIER	M an..3
		BY	Buyer 発注者	
		ST	Ship to 納入先	
O	C206		IDENTIFICATION NUMBER	C
M		7402	Identity number	M an..35
			企業名(+ 事業所名)	
X		7405	Identity number qualifier	C an..3
X		4405	Status, coded	C an..3
R	C082		PARTY IDENTIFICATION DETAILS	C
M		3039	Party identification	M an..35
			会社企業コード(+ 事業所コード)	
X		1131	Code list qualifier	C an..3
O		3055	Code list responsible agency, coded	C an..3
		92	Assigned by buyer or buyer's agent	
		289	JIPDEC/ECPC CII標準企業コード (JAMA・JAPIA推奨)	
X		3403	NAME TYPE, CODED	C an..3
X		3397	NAME STATUS, CODED	C an..3
X	C816		NAME COMPONENT DETAILS	C
X		3405	Name component qualifier	M an..3
X		3398	Name component	C an..70
X		3401	Name component usage, coded	C an..3
X		3295	Name component original representation, code	C an..3
X	C816		NAME COMPONENT DETAILS	C
X		3405	Name component qualifier	M an..3
X		3398	Name component	C an..70
X		3401	Name component usage, coded	C an..3
X		3295	Name component original representation, code	C an..3
X	C816		NAME COMPONENT DETAILS	C
X		3405	Name component qualifier	M an..3
X		3398	Name component	C an..70
X		3401	Name component usage, coded	C an..3
X		3295	Name component original representation, code	C an..3
X	C816		NAME COMPONENT DETAILS	C
X		3405	qualif Name component ier	M an..3
X		3398	Name component	C an..70
X		3401	Name component usage, coded	C an..3
X		3295	Name component original representation, code	C an..3
X	C816		NAME COMPONENT DETAILS	C
X		3405	Name component qualifier	M an..3
X		3398	Name component	C an..70
X		3401	Name component usage, coded	C an..3

X		3295	Name component original representation, code	C an..3
X	1229		ACTION REQUEST/NOTIFICATION, CODED	C an..3

Segment: **DTM** Date/time/period O (1/99)
 Position: 0670
 Group: Segment Group 16
 Level: 2
 Usage: Conditional
 Purpose: To specify date, and/or time, or period.
 Comments: カレンダー対象期間を示す。Pos.0040 での対象期間と同じ場合は省略する。稼働日数を伝送しない場合は、ここでカレンダー情報を示す。
 Examples: DTM+314: 0222220011111003333300222220011:ZZZ'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	C507		DATE/TIME/PERIOD	M
M		2005	Date/time/period qualifier	M an..3
			157 Validity start date カレンダー対象月・日	
			158 Horizon start date カレンダー対象範囲開始日	
			159 Horizon end date カレンダー対象範囲終了日	
			314 Planned duration of works 稼働日または、稼働/非稼働(またはシフト状況)を示す記号	
			490 Selection period, start date 期間の最初の日	
R		2380	Date/time/period 日付時間記述	C an..35
R		2379	Date/time/period format qualifier	C an..3
			6 CCMYYB 年月前後半	
			7 CCYMMW 年月週	
			102 CCYMMDD 年月日	
			610 CCYMM 年月	
			614 CCYMMMA 年月旬	
			616 CCYYWW 年週	
			ZZZ Mutually defined 31桁記号列(稼働・非稼働の日・シフトの指定) 02222200111110033333...(31桁)など	

Segment: **Segment Group 17** O (1/9)
Position: 0690
Usage: Conditional
Purpose:
Comments: 担当者、部門、および連絡先を指定するセグメント・グループ。
Notes:

Segments and Segment Groups

Usage	Segment	Name	Attributes
M	CTA	Contact information	M 1
O	COM	Communication contact	C 9

Segment: **CTA** Contact information M (1/1)
Position: 0700
Group: Segment Group 17
Level: 3
Usage: Mandatory
Purpose: To identify a person or a department to whom communication should be directed.
Comments: 担当者を設定する。
Examples: CTA+SC+A1000'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
R	3139		CONTACT FUNCTION, CODED	C an..3
		DL	Delivery contact 手配担当	
		IC	Information contact 情報システム担当	
		SC	Schedule contact 進捗担当	
R	C056		DEPARTMENT OR EMPLOYEE DETAILS	C
O		3413	Department or employee identification 部署または担当者のコード	C an..17
O		3412	Department or employee 部署名または担当者名	C an..35

Segment: **COM** Communication contact **O (1/9)**
Position: 0710
Group: Segment Group 17
Level: 3
Usage: Conditional
Purpose: To identify a communication number of a department or a person to whom communication should be directed.
Comments: 担当者の指定がある時、その連絡方法。
Examples: COM+0312345678:TE'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	C076		COMMUNICATION CONTACT	M
M		3148	Communication number e-mailアドレス、ファックス番号、電話番号	M an..512
M		3155	Communication channel qualifier	M an..3
		EM	Electronic mail e-mailアドレス	
		FX	Telefax ファックス番号	
		TE	Telephone 電話番号	

Segment: **Segment Group 18** O (1/99)
Position: 0720
Usage: Conditional
Purpose:
Comments: カレンダー情報を示すセグメント・グループ
Notes:

Segments and Segment Groups

Usage	Segment	Name	Attributes
M	QTY	Quantity	M 1
O	DTM	Date/time/period	C 99

Segment: **QTY** Quantity M (1/1)
Position: 0730
Group: Segment Group 18
Level: 3
Usage: Mandatory
Purpose: To specify a pertinent quantity.
Comments: 稼働日数を設定する。
Examples: QTY+77+21'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	C186		QUANTITY DETAILS	M
M		6063	Quantity qualifier 77 Work days	M an..3
M		6060	Quantity 稼働日数	M n..15
X		6411	Measure unit qualifier	C an..3

Segment: **DTM** Date/time/period **O** (1/99)
Position: 0740
Group: Segment Group 18
Level: 3
Usage: Conditional
Purpose: To specify date, and/or time, or period.
Comments: カレンダー情報を設定する。
Examples: DTM+314: 02222001111100333330022220011:ZZZ'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	C507		DATE/TIME/PERIOD	M
M		2005	Date/time/period qualifier	M an..3
		314	Planned duration of works 稼働日または、稼働/非稼働(またはシフト状況)を示す記号	
		490	Selection period, start date 期間の最初の日	
R		2380	Date/time/period 日付時間記述	C an..35
R		2379	Date/time/period format qualifier	C an..3
		102	CCYMMDD 年月日	
		ZZZ	Mutually defined 31桁記号列(稼働・非稼働の日・シフトの指定) 0222200111110033333...(31桁)など	

Segment: **Segment Group 21** O (1/9999)

Position: 0810

Usage: Conditional

Purpose:

Comments: 納入先(+事業所)内の細分化された部署ごとにカレンダー情報を設定するためのセグメント・グループ

Notes:

Segments and Segment Groups

Usage	Segment	Name	Attributes
M	GIR	Related identification numbers	M 1
X	REL	Relationship	C 1
X	RCS	Requirements and conditions	C 1
X	BII	Structure identification	C 9
O	RFF	Reference	C 9
X	IMD	Item description	C 9
O	DTM	Date/time/period	C 99
X	Segment Group 22		C 99
X	Segment Group 23		C 99
X	Segment Group 24		C 99
X	Segment Group 25		C 99

Segment: **GIR** Related identification numbers M (1/1)
Position: 0820
Group: Segment Group 21
Level: 3
Usage: Mandatory
Purpose: To specify a related set of identification numbers.
Comments: 部署を示すセグメント
Examples: GIR+13+LIN100'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	7297		SET IDENTIFICATION QUALIFIER 13 Work schedule	M an..3
M	C206		IDENTIFICATION NUMBER	M
M		7402	Identity number 部署コード または 部署名	M an..35
X		7405	Identity number qualifier	C an..3
X		4405	Status, coded	C an..3
O	C206		IDENTIFICATION NUMBER	C
M		7402	Identity number 部署名	M an..35
X		7405	Identity number qualifier	C an..3
X		4405	Status, coded	C an..3
X	C206		IDENTIFICATION NUMBER	C
X		7402	Identity number	M an..35
X		7405	Identity number qualifier	C an..3
X		4405	Status, coded	C an..3
X	C206		IDENTIFICATION NUMBER	C
X		7402	Identity number	M an..35
X		7405	Identity number qualifier	C an..3
X		4405	Status, coded	C an..3

Segment: **RFF** Reference O (1/9)
Position: 0860
Group: Segment Group 21
Level: 3
Usage: Conditional
Purpose: To specify a reference.
Comments: カレンダー情報に関連する参考情報を指定するセグメント
Examples: RFF + AOJ:0101'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	C506		REFERENCE	M
M		1153	Reference qualifier AOJ Calendar	M an..3
O		1154	Reference number カレンダーを特定する場合のカレンダーID	C an..35
X		1156	Line number	C an..6
X		4000	Reference version number	C an..35
X		1060	Revision number	C an..6

Segment: **DTM** Date/time/period **O (1/99)**
Position: 0880
Group: Segment Group 21
Level: 3
Usage: Conditional
Purpose: To specify date, and/or time, or period.
Comments: カレンダー情報を設定する。
Examples: DTM+314: 02222001111100333330022220011:ZZZ'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	C507		DATE/TIME/PERIOD	M
M		2005	Date/time/period qualifier	M an..3
		314	Planned duration of works 稼働日または、稼働/非稼働(またはシフト状況)を示す記号	
		345	Days of operation 稼働日数	
		490	Selection period, start date 期間の最初の日	
R		2380	Date/time/period 日付時間記述	C an..35
R		2379	Date/time/period format qualifier	C an..3
		102	CCYYMMDD 年月日	
		814	Working days 稼働日数	
		ZZZ	Mutually defined 31桁記号列(稼働・非稼働の日・シフトの指定) 0222200111110033333...(31桁)など	

Segment: **UNT** Message trailer M (1/1)
Position: 1020
Group:
Level: 0
Usage: Mandatory
Purpose: To end and check the completeness of a message.
Comments: メッセージ・トレーラー
Examples: UNH+25 + AAAA01'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	0074		NUMBER OF SEGMENTS IN THE MESSAGE UNH-UNT間のセグメント数 (UNH,UNTも含む)	M n..10
M	0062		MESSAGE REFERENCE NUMBER UNHでのe0062と同じもの	M an..14

4. 記述例

この例では、発注者（T1000） 納入先（T2001）の2001年5月の稼働日が31桁の0・1記号で送られる。

（表 4-1）

セグメント	解説
UNH+AAAA01+PROTAP:D:99A:UN:J AMA01'	AAAA01 - ユニーク番号 99A - リリース番号
BGM+257+JAMAEIE055-Guide:V1:R1+ 5'	257 - カレンダー情報であることを示すコード JAMAEIE055 - 本ガイドラインの番号 Guide - 各社メッセージ仕様書の名称 V1 - 各社メッセージ仕様書のバージョン番号 R1 - 各社メッセージ仕様書のリビジョン番号 5 - Replace であることを示すコード
DTM+137:200103311345:203'	137 - 文書発行日時であることを示すコード 200213311345 - 2001年3月31日13時45分 203 - CCYYMMDDHHMM形式を示すコード
DTM+157:200105:610'	157 - カレンダー対象月であることを示すコード 200105 - 2001年5月 610 - CCYYMM形式を示すコード
UNS+D'	サービス・セグメント（必須）
RFF+ZZZ:2:H07:92'	2 - 実際の件数 H07 - 受信確認用件数を示す JAMA コード 92 - 各社設定であることを示す
LIN+1'	1 : 1 番目のデータであることを示す
PNA+BY+T1000'	BY - 発注者であることを示すコード T1000 - 発注者コード
QTY+77:22'	稼働日数を示す 77 - 稼働日数であることを示すコード 22 - 稼働日が22日間であることを示す。
DTM+314:001100000110000011000001 1000001:ZZZ'	稼働日を31桁の1・0で示す(0が稼働日) ZZZ : 自由形式を示す。
LIN+2'	2 : 2 番目のデータであることをしめす
PNA+ST+T2000'	ST - 納入先であることを示すコード T2000 - 納入先コード
QTY+77:21'	稼働日数を示す 77 - 稼働日数であることを示すコード 21 - 稼働日が21日間であることを示す。
DTM+314:001100000110000011000001 1000011:ZZZ'	稼働日を31桁の1・0で示す(0が稼働日) ZZZ : 自由形式を示す。
UNT+15+AAAA01'	15 - UNH ~ UNT 間（両端含）のセグメント数 AAAA01 - ユニーク番号（UNHと同じ）

5. 交換用サービス・セグメント

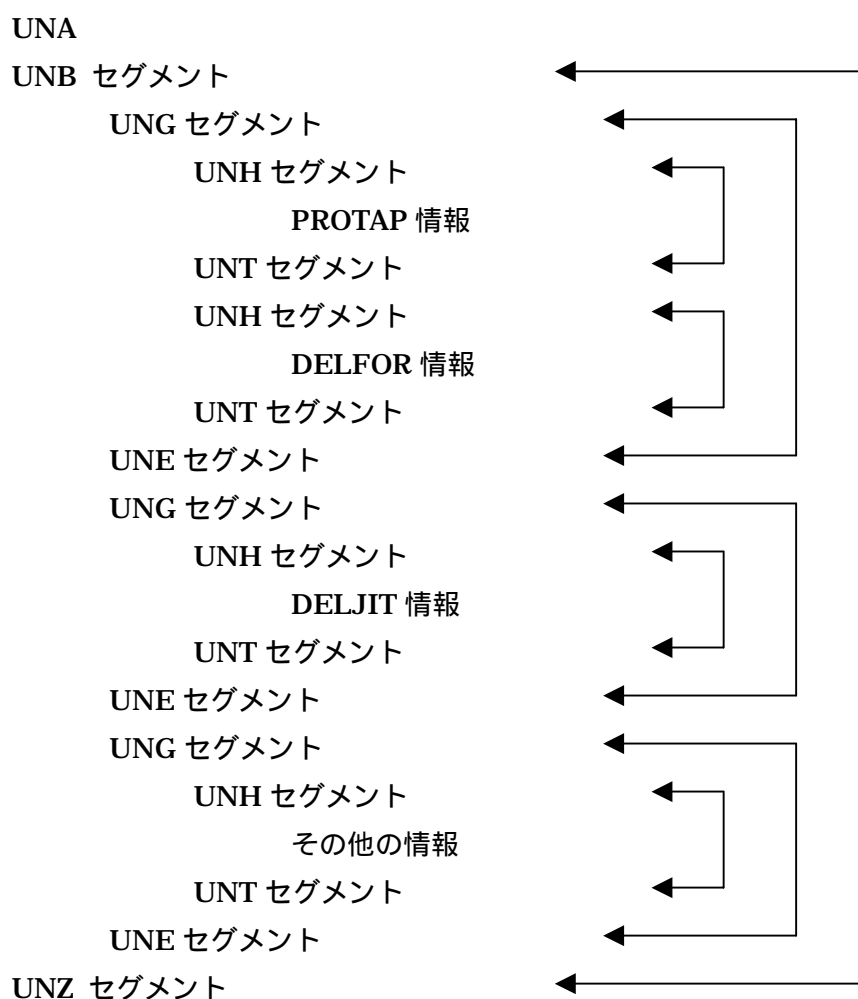
EDIFACT によるメッセージの交換は、いくつかのメッセージ (DELFOR、DELJIT,...) を、メッセージ交換サービス・セグメントで束ねることにより、行われる。

サービス・セグメントは UNB-UNZ、UNG-UNE があるが、通常は、UNB-UNZ のみを使ってメッセージ交換が行われる。その包含関係を、図 5-1 に示す。

UNA はメッセージ・コントロール文字を規定するサービス・ストリング・アドバースであり、デフォルトで決められている文字を変更する場合に、すべてのメッセージに先立って指定する。ただし、JAMA・JAPIA では UNA の使用は推奨しない。

メッセージ交換コントロールの包含関係

(図 5-1)



5.1 サービス・セグメント概要

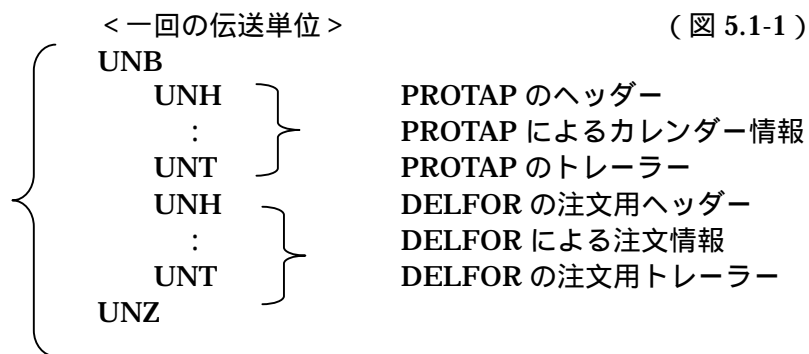
UNB-UNZ : メッセージ交換用セグメント(ヘッダー、トレーラ)

このサービス・セグメントは、郵便の封筒にあたるセグメントであり、メッセージ交換の際には、必ず使用しなければならない。

このセグメントには、ユニークに識別するための番号と、発信元および受信先を示すコードが記述される。

UNG-UNE : 機能グループ同封用セグメント(ヘッダー、トレーラ)

同一のメッセージ種を束ねるためのサービス・セグメント。UNG と UNE の間には、複数の同じメッセージ種が入れられる。使用は任意である。



5.2 サービス・STRING・ADVICE概要

UNA : メッセージ・コントロール文字(セグメント内の区切り等を示す記号)を規定する。

デフォルトとして、以下のように決められている。

UNA : + . ? _ '

第1文字(:) コンポーネント・データ・エレメントの区切りを示す。

第2文字(+) データ・エレメントの区切りを示す。

第3文字(.) 小数点を示す。

第4文字(?) UNA で決められた記号を別の意味で使用するときに使う。

第5文字(スペース) 将来に備えての空き場所。

第6文字(') セグメントの終了を示す。

なお、UNA を使用する場合は、6文字すべてを定義しなければならない。

PROTAP V1.01(JAMAEIE036)からの変化点

No.	変更内容	Pos.	Seg	Element	V1.01 (JAMAEIE036)	V1.02 (JAMAEIE055)	状況	備考
1	項目追加(オリジナルデータ作成日/時刻)	0040	DTM	C507.e2005	-	540	追加	
2	JAMA Usage	0530	SG14		X	0	変更	「受信確認用件数」設定時使用
	JAMA Usage	0540	RFF		X	M	変更	
	項目追加(受信確認用件数)	0540	RFF	C506.e1156	-	JAMAポート H07	追加	
3	桁数変更	1020	UNT	e0074	Attribute n..6	n..10	変更	

尚、本書では、上記以外に、V1.01の正誤表記載事項も反映しています。

E D I F A C T 標準化検討委員

社団法人 日本自動車工業会

マテリアル担当委員

塩沢 敬和	国際標準分科会	分科会長(トヨタ)
今田 毅	国際標準分科会	委員(本田)
内山 兼光	国際標準分科会	委員(三菱自工)
藤原 春雄	国際標準分科会	委員(日産)
河田 美智男	国際標準分科会	委員(マツダ)
渡邊 真己	国際標準分科会	委員(スズキ)
雨宮 敏幸	国際標準分科会	委員(川崎重工)
朝田 卓磨	国際標準分科会	委員(ダイハツ)

I N V O I C 担当委員

蓮沼 貞子	国際標準分科会	委員(日産ディーゼル)
鈴木 隆弘	国際標準分科会	委員(ヤマハ)
宮沢 泰彦	国際標準分科会	委員(いすゞ)
小田 孝之	国際標準分科会	委員(日野)
大沢 理之	国際標準分科会	委員(富士重工)

補修品用品担当委員

辻 昇	国際標準分科会	委員(三菱自工)
杉浦 均	国際標準分科会	委員(トヨタ)
蘆澤智巳	国際標準分科会	委員(日産)
長浜智次	国際標準分科会	委員(本田)
村中光治	国際標準分科会	委員(マツダ)

社団法人 日本自動車部品工業会

マテリアル担当委員 & I N V O I C 担当委員

岩富祥之	E D I 検討会	委員(カルソニックカンセイ)
------	-----------	----------------

連絡先：(社)日本自動車工業会 交通統括部電子情報グループ

〒100-0012 東京都港区芝大門一丁目1番30号 日本自動車会館
TEL：03-5405-6123 FAX：03-5405-6136

Copyright：(社)日本自動車工業会